



ピンチをチャンスに変えて

校長 小松 進一

一臨時休業期間を探究の時間に一

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月からの学校臨時休業がもうすぐ3ヶ月となります。この間に生徒の皆さんには、たくさんの（少ない？）学習課題が郵送され取り組んでいることと思います。担任の先生あるいは学年の先生からの電話確認では、生徒の皆さんはみんな元気であると報告を受け、嬉しく思っています。しかしながら、まだまだ予断を許さない状況であることには変わりありません。引き続き、外出自粛を徹底してください。申し訳ございませんが、保護者の皆様にも外出自粛のため、できる限り来校機会や人と人との接触機会を減らしていますので、学校（担任等）との連絡方法は電話及び郵便が中心となります。もうしばらくの間、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、生徒の皆さんは、この休業期間をどのように過ごしていますか。特に3年生は、高校入試があり学習面では心配ではないでしょうか。しかし、1、2年の学習内容を復習する時間がたっぷりできたと思えばピンチもチャンスと捉えることができます。また、学校が開いているときにはなかなか時間がありませんでしたので、自分の興味・関心があることについて調べ学ぶ期間としてもよいと思います。探究の時間がたっぷりと与えられたと思って取り組んでみてください。

ところで、皆さんはアイザック・ニュートンを知っていますか。1642年にイングランドで生まれた自然哲学者、数学者、物理学者、天文学者、神学者です。有名な話として「万有引力の法則」に関して、古い伝記などで「庭にあるリンゴの木からリンゴが落ちるのを見て万有引力を

思いついた」という話です。（実はこの話も諸説あって真偽はわかりませんが・・・）しかし、ニュートンの話ではもう一つ有名なことがあります。前にも述べたように、彼は数学者です。微分及び微分積分学（高校の数学で学びます）の基礎となる万有引力、二項定理を1665年に発見します。実は、この年から1666年にかけて、ロンドンではペスト（黒死病）の大流行が起こり、ピーク時には1日に6000人が死亡する事態となりました。当時ニュートンは、ケンブリッジ大学（イギリスの名門大学）の学生で、このペストの大流行のため大学も閉鎖となり、彼はペスト禍を逃れ故郷（ウールスソープ）に戻ることになります。この疎開期間は18ヶ月間に及びましたが、この期間に自由に思考する時間を得て、二項定理やプリズムでの分光の実験（光学）、万有引力の着想などに没頭したそうです。結局、このわずか1年半ほどの期間にニュートンの主要な業績の発見及び証明がなされています。（この期間のことを「驚異の諸年」「創造的休暇」などと呼ばれています）

この臨時休業期間もいつ終了するのかわかりません。何もしていない人はいないと思いますが、学校から出された学習課題だけに取り組むのではなく、自分の好きなことに没頭してもよいのではないのでしょうか。ゲームが好きだからゲームをやるだけではなく、このゲームがどのように作られているのか探究してみる、あるいはオリジナルのゲームを作ってみるなども面白いですね。いずれにせよ、この期間を有意義な時間として取り組んでください。

生徒の皆さん、保護者の皆様、お体には十分ご留意ください。一日も早く学校が再開することを願っております。

細菌とウイルスについて

細菌とは・・・

目で見ることができない小さな生物です。一つの細胞しかないので単細胞生物と呼ばれます。細菌は栄養源さえあれば自分と同じ細菌を複製して増えていくことができます。人の体に侵入して病気を起こす有害な細菌もいます。一方で人の生活に有用な細菌も存在します（納豆菌など）。人の体には多くの種類の細菌がいて、皮膚の表面や腸の中の環境を保っています。

ヒトの病気を起こすことがある細菌として、大腸菌、黄色ブドウ球菌、結核菌などが知られています。抗菌薬（抗生剤、抗生物質）は細菌を退治するための薬です。

ウイルスとは・・・

細菌の50分の1程度の大きさで、とても小さく、自分で細胞を持ちません。ウイルスには細胞がないので、他の細胞に入り込んで生きていきます。ヒトの体にウイルスが侵入すると、ヒトの細胞の中に入って自分のコピーを作らせ、細胞が破裂してたくさんのウイルスが飛び出し、ほかの細胞に入りこみます。このようにして、ウイルスは増殖していきます。ヒトに病気を起こすことがあるウイルスとして、インフルエンザウイルス、ノロウイルスなどが知られています。もちろん、新型コロナウイルスもです。風邪（普通感冒）はさまざまなウイルスが原因となります。

ウイルスは大きさや仕組みが細菌と異なるので抗菌薬（抗生剤、抗生物質）は効きません。抗ウイルス薬はまだ少数しか開発されていません。新型コロナウイルスについては、現在開発中です。

参考資料：AMR 臨床リファレンスセンター

新型コロナウイルスについて・・・

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことはできず表面に付着するだけとされています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては24時間から72時間くらい感染する力をもつとされています。

手洗いは、たとえ流水だけであったとしても、ウイルスを流すことができるため有効ですし、石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りやすいといわれていますので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

参考資料：厚生労働省

保護者の皆様へ

臨時休業期間中にいくつかのご質問やご意見をいただきましたので、共有させていただきます。

①学習課題が少ないのでは？ ②学習課題が多いのでは？ ③課題はいつ提出ですか？ ④インターネットを利用した学習活用について緊急メール等で案内がりましたが、家庭にはインターネット環境がありません。どうすればよいですか。

○学習課題については、多めに郵送するように各学年に指示しています。もちろん全てをやりきることはできなくても構いません。自分のペースで学習してください。課題が終わってしまった場合は、学校に電話連絡してください。新たな課題を準備します。提出は、各学年通信を参照してください（特に指示がない場合は、学校再開後の最初の登校日です）。学習状況については電話確認の際に担任又は学年職員が聞き取りをしています。

○家庭のインターネット環境ですが、本校でも100%整っていません。教育委員会からの具体的な対応（各種機器の貸し出し等）についての通知を待っているところです。大変申し訳ございません。